

スマートフォンや SNS 等の利用におけるトラブル防止について（お願い）

新緑の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は本校の教育活動に格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、現在、子どもたちの間でスマートフォンやタブレット、オンラインゲーム等の利用が急速に普及しております。便利な反面、ネット上のトラブルは、**学校内だけでは実態の把握や解決が極めて困難なケースが多く、内容によっては児童生徒の安全を守るため、警察等の外部機関と連携・介入を依頼せざるを得ない事態**にもつながります。

つきましては、**お子様を被害者にも加害者にもさせないため**、今一度、ご家庭での利用状況をご確認いただき、下記の点について強い危機感を持ってご指導いただきますようお願い申し上げます。

小学生の SNS トラブルの多くは、「学校（リアル）の人間関係の延長」で起こります。夜間に LINE でケンカが勃発し、翌朝の教室の雰囲気が最悪になっている…というのは担任が頭を抱える典型的なパターンです。

1 実際に起きているトラブル

①文字のコミュニケーションによる誤解

小学生はまだ言葉のニュアンスを読み取ったり、相手の気持ちを想像して文章を書いたりするのが苦手なため、ニュアンス違いや悪気のない一言がケンカに発展しています。

②「グループトーク」での仲間外れ・いじめ

仲良しグループから、特定の1人だけを抜いた別のグループを作り、そこで悪口を言ったりゲーム感覚でグループから特定の友達を「退会」させたりするなどいじめに発展する。

③写真や動画の無断共有・プライバシー問題

友達のちょっと面白い写真を、本人の許可なくグループに投稿して笑いものにする。友達の前で撮った写真など個人情報が写った写真をタイムラインや TikTok などにアップしてしまう。

④オンラインゲームやボイスチャットでの暴言

『フォートナイト』や『ロブロックス』など、小学生に人気のゲーム内チャットや、LINE 通話をつなぎながらのプレイの中で暴言を吐いたり、レアなアイテムを手に入れるために脅したりする。

2 学校での対応と限界について

ネット上のやり取りは、夜間や休日など「家庭にいる時間」に、個人の端末で行われることがほとんどです。学校でも情報モラル教育を行っておりますが、プライベートな通信内容を学校が監視・強制調査することはできません。トラブルが深刻化し、法律に触れる行為（脅迫、名誉毀損、児童ポルノ等）が疑われる場合は、学校から警察へ相談・通報する、あるいは被害者側から警察へ被害届を提出するケースがあります。

3 ご家庭で必ず実践いただきたいこと

【フィルタリングの徹底】：お子様の端末には、年齢に応じたフィルタリング設定をご検討ください。

【利用ルールの策定と見直し】：「使用はリビングのみ」「夜〇時まで」など、親の目が届くルールを決め、定期的に破られていないか確認してください。

【「書いたものは消えない」ことの指導】：一度ネットに流した文字や画像は完全に消せないこと、画面の向こうには生身の人間がいることを、繰り返しお話しください。